Creative Enzymes®

Xanthomonas manihotis由来のβ-N-アセチルヘキソサミニダーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-0934

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	この酵素は、複□な炭水化物から非還元末端のβ1-2、β1-3、β1-4およびβ1-6結合のN-アセチルグルコサミンを放出します。低濃度（<50 mU/ml）のオリゴ糖とインキュベートすると、酵素はGlcNAcβ1-2Man、GlcNAcβ1-4ManおよびGlcNAcβ1-6Manの結合を区別できます。このような条件下では、酵素は基本的にβ1-2結合のGlcNAcのみを切断しますが、2つの条件があります。第一に、β1-2 GlcNAcは、置換されたマンノースがC-6で置換されている場合には加水分解されません。したがって、この酵素は三叉オリゴ糖の分析に有用です。第二に、保存されたペンタサッカライドコアのβ結合マンノースが「ビセクティング」GlcNAcで置換されている場合、α1-3アームのマンノースに結合したβ1-2結合のGlcNAcのみが切断されます。酵素の濃度が高くなると、β1-4およびβ1-6結合のGlcNAcも加水分解される可能性があります。
用途	真核生物における糖鎖の生合成、さまざまな発現系における糖タンパク質の生産、タンパク質の消化、糖タンパク質からのN結合およびO結合糖鎖の除去、糖鎖の配列決定
別名	β-N-アセチルヘキソサミニダーゼ; N-アセチル-β-D-グルコサミニダーゼ, β-N-アセチルグルコサミニダーゼ

製品情報

種	ザントモナス・マニホティス
由来	E.coli
分子量	71000 daltons
濃度	4,000 ユニット/ ml
単位定義	1ユニットは、1 nmolのGlcNAcβ1-4GlcNAcβ1-4GlcNAc-7-amino-4-methyl-coumarin (AMC)の端末非還元性β-N-アセチルグルコサミンを95%以上切断するのに必要な酵素の量として定義され、37°Cで1時間、総反□体積10 µlで行われます。

保管・発送情報

保存方法	4°C、繰り返しの凍結/解凍サイクルを避けてください。